

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	地域高規格道路 茂原・一宮・大原道路 一般国道128号 茂原一宮道路二期	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県茂原市三ヶ谷 至：千葉県一宮町一宮	延長	5.0 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>茂原一宮道路は、地域高規格道路 茂原・一宮・大原道路の一部を構成する道路であり、首都圏中央連絡自動車道（以下、「圏央道」）の整備効果を外房地域へ広く波及させ、観光の振興や防災力の強化等を目的とした道路で、茂原市三ヶ谷～一宮町一宮までの延長約5.0 kmを整備するものである。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当該事業の整備により、現道の交通混雑緩和やアクセス性の向上、災害に強い道路構造となることにより地域の利便性の向上や観光振興、防災機能の強化が期待される。</p>					
全体事業費	約170億円 二期のみ	計画交通量	8,000台/日		
<p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

- 沿線自治体（茂原市、睦沢町、一宮町）において、それぞれ「茂原市都市計画マスタープラン(H24.7策定)」、「睦沢町まち・ひと・しごと創成総合戦略(R3.4策定)」、「一宮町都市計画マスタープラン(H27.3策定)」に広域ネットワークと一体となった道路整備として位置付けられている。
- 地元自治体で構成される地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」建設促進期成同盟会等から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

- 千葉県県土整備公共事業評価審議会（令和5年1月27日）において、新規事業化は妥当であると了承。

**事業採択の前提条件**

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 地元自治体などから早期整備の要望を受けており、また概略ルートに関する地元説明会を実施（R4.7～8）するなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益（一体評価）	B/C ( )：個別評価	1.4 (1.2)	総費用 349億円 (121)	総便益 481億円 (139)	基準年 令和4年	
			事業費：334(116)億円 維持管理費：14(4.4)億円 更新費：1.2(0)億円	走行時間短縮便益：431(118)億円 走行経費減少便益：39(15)億円 交通事故減少便益：11(5.9)億円		
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2 (交通量 -10%)	B/C=1.6 (交通量 +10%)		
	事業費変動	B/C=1.3 (事業費 +10%)	B/C=1.4 (事業費 -10%)			
	事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.4 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		・現道の一般国道128・409号における交通が転換し、交通混雑の改善が期待される。 【混雑度の改善】 整備前：1.24 整備後：0.91 （国道128号宮原交差点付近）		
		事故対策		・現道の交通の転換により、交通事故が減少。整備後、現道交通量の460台/日が減少見込み。整備前：1730台/日 整備後：1270台/日 【死傷事故率】 現道区間（一般国道128・409号）：49.1件/億台キロ 千葉県管理道路平均43.1件/億台キロ		
		歩行空間		・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活		・第3次救急医療施設（東千葉メディカルセンター）への到達時間が短縮される。 整備後、搬送時間が約19分の短縮見込み。整備前：約52分 整備後：約33分		
		地域経済		・アクセス性の向上により、釣ヶ崎海岸から茂原長南ICまでの走行時間が短縮される。 【茂原長南ICから釣ヶ崎海岸への所要時間】 整備前：42分 整備後：22分		
		災害		・現道の国道128・409号は緊急総道路1次路線に位置付けられているが、当該道路に並行する現道区間のうち、約3.5kmが浸水想定区域を通過するとともに、令和元年度の洪水時において浸水による通行止めを余儀なくした状況であり、洪水時の浸水想定高より高い道路構造とすることで、緊急輸送道路ネットワークの強化が図られるとともに、リダンダンシーの向上が期待される。		
環境			・注目すべき影響はない。			
地域社会		・圏央道に接続し、広域的な幹線道路ネットワークを形成することにより、長生地域と県内外との交流・連携の強化が図られる。				
事業実施環境			・道路計画に関する地元説明会を実施（R4.7～8）。 ・地元自治体で構成される地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」建設促進期成同盟会等から、本事業の早期整備の要望を受けている。			

採択の理由

事業主体である千葉県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、県内外との交流連携の強化、交通混雑の緩和、救急医療活動の支援、防災等の効果が見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。  
 以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。